

令和6年度 第2回 首里杜まちづくり推進協議会

観光庁「オーバーツーリズムの未然防止・抑制 による持続可能な観光推進事業」について

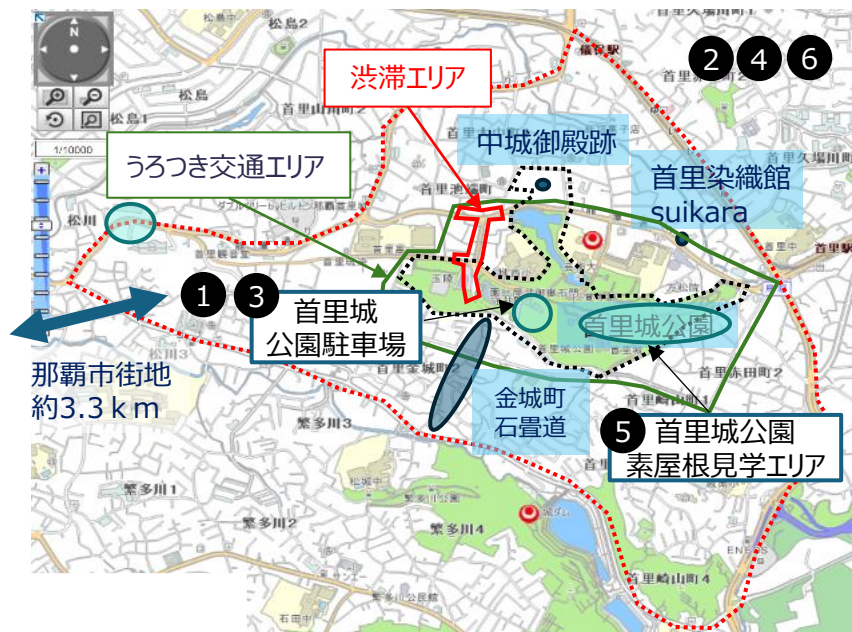
1. オーバーツーリズム事業概要
2. 最終成果
3. 首里杜地区の目指す姿

観光庁「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」概要

● 対策事業実施の経緯

- 地域の現状を把握するため、交通量のデータ分析、また地域住民へのアンケートを実施し、計画を策定
- 時間と場所の分散を対策の軸として、駐車場満空情報や予約状況の見える化などを実施する
- また、本エリアはR4にまちづくり協議会が設立し、20年、50年先を見据えつつ、持続可能なまちづくりを進めて行く計画である。そのためには、効果検証のための数値指標を設定し、観光による地域の変化を測る必要があるが、その指標が設定されていない
- そのため、日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）を活用した指標設定や研修により、地域の体制も強化していく

エリアマップ



観光客の分散・平準化

対策事業	①予約状況が見える化するためのバス予約システムの構築
内容	・一時に大型バスが来園することにより、約150m通過に約25分かかるほど深刻な交通渋滞が発生 ・予約状況が見える化することで、駐車場予約時間の分散化を図る
対策事業	②首里城公園駐車場とあわせた周辺民間駐車場の位置及び満空情報の発信システム及びWebサイトの構築
内容	・周辺駐車場を探し回ることによるうろつき交通が発生し、混雑の要因となっている ・周辺の民間駐車場への誘導により、スムーズに車を分散させることで、うろつき交通・渋滞解消を図る。あわせて、周遊観光の促進も図る
対策事業	③首里城公園駐車場の満空情報を発信するためのwebサイト構築、道路サイネージの設置
内容	・満車にもかかわらず、飛び込みで来るレンタカーなどが交通渋滞を発生させている ・来園前に満空を確認できるようにすることで、場所・時間の分散を図る
対策事業	④近距離モビリティ実証実験
内容	・首里城公園周辺の観光スポットに観光客が分散せず、園内が混雑 ・近距離モビリティにより周遊しやすい環境を整備することで、周遊観光促進及び観光の経済効果の波及を図る

需要の適切な管理

対策事業	⑤人流解析基礎データ情報を取得するための機器の設置
内容	・首里城の特定エリアに修学旅行生などの観光客が集中し、快適な観光への影響の他、群衆事故が発生する恐れがある ・まずは人流を把握し、需要の適切な管理方法の構築に繋げていく

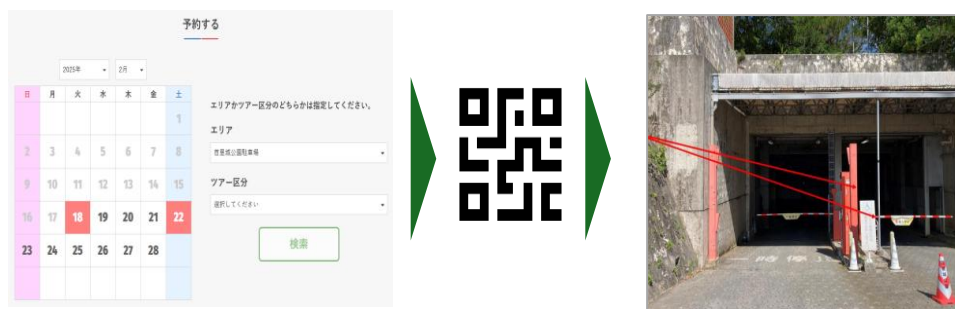
調査・分析

対策事業	⑥JSTS-Dを活用したデータ収集・分析等
内容	・進捗状況や成果等进行分析、効果検証するための数値指標が設定されておらず、観光によって地域がどうなったかが見えていない ・そのため、データ分析の仕組みを構築し、効果検証を実施する

最終成果

対策事業 | ①予約状況を見える化するためのバス予約システムの構築

・予約状況の見える化とQRコード入場システムを構築した



対策事業 | ④近距離モビリティ実証実験

・R6.12～R7.1の2か月間実証実験を実施した。



対策事業 | ②首里城公園駐車場とあわせた周辺民間駐車場の位置及び満空情報の発信システム及びWebサイトの構築

・周辺駐車場の満空情報をHPで発信できるようにシステムを構築した



対策事業 | ③首里城公園駐車場の満空情報を発信するためのwebサイト構築、道路サイネージの設置

・手続きの簡素化とリアルタイムでの発信



サイネージ

HP

対策事業 | ⑥JSTS-Dを活用したデータ収集・分析等

・GSTCトレーニング修了証明書を取得し、7つの指標案の作成をおこなった



ワーキンググループ



GSTCトレーニング



最終成果

成果詳細

➤ 首里杜エリアの目指す姿

- 首里城公園に集中する車・人について、予約制などにより需要をコントロールしつつ、周辺への分散化を促進し、地域の活性化にもつなげる
- このように、エリア一体で観光管理の体制を構築することで、自然・歴史・暮らしが調和する首里らしいまちに、100年後まで住み続けられる持続的なまちづくりを目指す

首里城復興を見据えた エリアマネジメント	需要の管理	• 首里城正殿の時間制予約の導入 • バス・小型車の駐車場予約制の導入
	分散化	• 満空情報発信による駐車場状況の見える化、周辺駐車場への誘導
	周遊促進	• 首里城公園周辺の周遊ルート開発、2次交通の整備

100年後まで
住み続けられる
持続的なまちづくり

